

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	毒物劇物取締法施行費	事業開始年度	1. 昭和48年度～			作成責任者
担当部局庁	医薬食品局	担当課室	審査管理課化学物質安全対策室			室長 長谷部 和久
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	毒物及び劇物取締法の施行に伴う毒物劇物の指定を行うこと。また、毒物劇物営業等登録事務の迅速・効率化、地方厚生局及び都道府県との情報の共有化を図るための登録システムの運用、事故等における緊急対応を可能とする物性、応急措置、解毒情報のデータベースを管理・運用すること。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	1. 毒物劇物指定調査 本邦で毒劇物に指定されていない化学物質についての毒性評価 2. 毒物劇物営業等登録システム 毒劇物営業等登録事務の迅速化等のためのシステム運用・改修等					
実施状況	1. 化学物質についての毒性評価及び有害性に関する情報を収集するため国立医薬品食品衛生研究所へ支出委任 2. 毒物劇物営業等登録システムの改修及び運用保守として一般競争入札を実施					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	49	49	56	47	44
	執行額	35	42	46		
	執行率	71%	86%	82%		
	総事業費(執行ベース)	35	42	46		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	1. 8物質について、有害性情報を検索し、当該物質の有害性に係る根拠資料を抽出した。また、2物質について、毒性評価のため実験国立医薬品食品衛生研究所において実施。 2. 毒劇物営業等登録システムについては、Windows Vista上で動作するように改修が行われ、より適切な運用が行われている。				
	見直しの余地	毒劇物営業等登録システムについては1者入札となっていることから、入札仕様を見直すことを検討。平成22年度は、前年度の実績を踏まえ、予算額を見直した。				
予算チームの監視・効率化	一部改善(執行状況を予算要求に反映) ここ数年、不用が生じており、予算と執行の乖離の要因を精査し、予算の縮減を図るべきである。					
補記						

A. 厚生労働省
46百万円

D. (有)正陽印刷
0.2百万円
毒劇法政令案印刷

B. 国立医薬品食品衛生研究所
3.5百万円

【一般競争入札】
C. (株)日本電気
毒物劇物営業者登録システム改修・運用
34.4百万円

うち、事務費 8百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.厚生労働省					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	【一般競争入札】日本電気 毒劇物営業者登録システム改修	34			
支出委任	国立医薬品食品衛生研究所 毒物劇物指定調査事業費	4			
計		38	計		0
B.国立医薬品食品衛生研究所					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
光熱水料	ガス、上下水道、電気料、重油	2			
消耗品費	文献購入 他	1			
その他諸雑費	備品、機器修理	1			
計		4	計		0
C. (株)日本電気					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	毒劇物営業者登録システム改修	34			
計		34	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0